

わがまちの環境自慢（プレゼンテーション）

企画の概要

「わがまちの環境自慢」は、環境自治体会議の会員自治体が他の自治体の政策や先進的な取り組みを相互に学び、政策のレベルアップを促進することを目的としてスタートした企画で、平成26年度で4回目を数える。選定された事例を多くの方々に紹介し、社会的な発信を強化するため、例年、全国大会の会期中に優秀事例の表彰式を執り行うとともに、「キラリ大賞」受賞自治体による受賞取り組みの紹介を行ってきた。

今回は初めての試みとして、全国大会1日目にエントリー団体によるプレゼンテーションを実施し、会場の参加者による投票および専門家投票（環境自治体会議アドバイザー・田中充、先崎千尋、白井信雄と代表幹事・小林康雄 土幌町長、基調講演者・藤田壮）によって優秀事例を決定、大会3日目に表彰式を執り行うこととした。

プレゼンテーションには6自治体から首長や事業担当職員らが参加し、それぞれ約7分間の熱のこもったアピールが行われた。参加者投票には204名が参加した。

エントリー団体・事例一覧

自治体名	取組み名
茨城県東海村	第3次とうかいエコオフィスプラン
東京都足立区	全国初！ 木製粗大ごみの資源化
静岡県三島市	ガーデンシティみしま推進事業
岐阜県多治見市	市民が先生の環境学習（たじみエコカレッジ）
奈良県生駒市	カワバタモロコ保護活動
山口県宇部市	子育て支援リユース事業

分科会議論の課題整理

話題提供

環境自治体会議 事務局長 中口毅博

12の分科会のテーマごとに、住宅都市の特徴として挙げられるものを整理し、これらを踏まえて分科会で明らかにしたい論点（優先討議項目）とそれ以外の論点を整理した。分科会では、この論点に沿って解決策が見出せるように議論していただきたい。分科会に参加する方は資料集4～5ページの表を読み、どのような議

論が行われるかを事前に確認しておいていただきたい。分科会の中では参加者の発言の時間も用意されるので、ぜひ意見表明をしていただきたい。